

## 笹本御上人様の思出

神奈川県 片岡 球子

芸術院会員  
文化功労者

御上人様に初めて御指導いただきましたのは昭和八年四月二宮知足寺の御別時の時でございました。御上人様の御姿を拝し奉って「お光の御上人様」と申し上げたい程御体全体から、美しいお光が輝いていと尊く、思はず合掌いたしました。其上御上人様のお話下さる御態度やお言葉にも御慈愛がこもり、丁寧な御ものごしには全く頭をたれて御慕ひ申さずには居られぬのでございました。

其後鎌倉の犬塚助次郎閣下の御宅へ御縁あつて、毎月四日に御上人様の御法話を承らせていたゞく身となりました。

御上人様は常々恩師弁栄聖者の御事を深く御慕ひの御模様で御法話の時等、「弁栄聖者が私にこうお教へ下さいましたから、私もしかとそう信じてをります」と申され、かた時も聖者の面影をお忘れ遊ばさぬ御様子で聖者のお話になりますと、涙で胸がおつまりになる様のことを屢々拝し奉り尊く存じました。

お上人様はいつもくおやさしくて数々の御法話を遊して下さいましたが、一番思ひ出されますのは四大智慧平等性智のお話中「ワカリ」に関するお話は心にしみとほつてわすれられません。御上人様は御自分の御人差指を親指で御弾きになりながら「これがワカリですな」何度も同じ事を遊されて、「不思議な事を笹本は申しますな」等にくくなさりながらこの不思議を解りやすく、くりかへしくおとき下さいました。

御上人様はお帰りの時にはよく「如来様のお光明を戴く時は惑業苦が除かれて、生れ変わり死に変わりが無くなり一面には清浄光智慧光によって、永遠の生命がしっかりと得られて参ります。皆様は、私の話よりは

お念仏が大切ですな。親様にお会ひ申すには御念仏が大切です」と仰せになりました。そして「悪魔にさそわれぬ様に、天狗にならぬ様にせよ。お念仏する時は初めは慈悲の如来様を拝めなくともお遇ひ申し度いとお慕ひ申してお念仏をせよ」と愛し子の為に御教へをたれて下さいました。